

2025年度 授業コード: 22106200

授業科目	カウンセリング演習				実務家教員担当科目	○					
単位	1	履修	選択	開講年次	4	開講時期	前期				
担当教員	杉本 有紗										
授業概要	<p>実務家教員として、本演習ではカウンセリングの理論と方法について解説する。</p> <p>カウンセリングの理論と方法には、心理職のみならず、対人援助職がその職務を適切に全うするため専門家として身に付けておくべき視点や技法が含まれている。</p> <p>本演習担当者は、学生相談室や高齢者施設における心理臨床経験をもつ実務家教員である。カウンセリング・心理療法には様々な学派がある。その中でも、グループ療法は個人療法と同様に、多くの対人援助場面で実施され、有効な効果をもたらしている。本演習では、グループ心理療法の一つ、モレノの創始した心理劇を取り上げる。心理劇の基礎理論、アセスメントや面接の技術、面接プロセス、実践事例について臨床における有用性の視点から解説し、ディスカッション、ロール・プレイングを行う。</p>										
授業形態	対面授業			授業方法	ディスカッション、ロール・プレイング						
<b>学生が達成すべき行動目標</b>											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. グループ心理療法における態度、考え方について説明することができる。</li> <li>2. 事例に応じた適切なアセスメントの方法について検討することができる。</li> <li>3. 事例に応じた面接の方法とプロセスについて説明することができる。</li> <li>4. 福祉領域における創造的な心理臨床的支援の方法について検討することができる。</li> </ol>										
理想的レベル	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事例に応じた面接の方法とプロセスを理解し、日常の対人場面においてもその技法を応用することができる。</li> <li>2. 他者の置かれた心理的状況への理解を広げ、より良い心理的支援を追求することができる。</li> <li>3. 事例に対する倫理的な配慮を心得て、対人援助職に就くことを念頭に入れた面接場面における自己の課題を自覚し、自己研鑽に努めることができる。</li> </ol>										
<b>評価方法・評価割合</b>											
評価方法		評価割合 (数値)			備考						
試験											
小テスト											
レポート		65			小レポート、最終レポート						
発表 (口頭、プレゼンテーション)		35			ロール・プレイング、ディスカッション						
レポート外の提出物											
その他											
<b>カリキュラムマップ (該当 DP) ・ナンバリング</b>											
DP1	-	DP2	○	DP3	-	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	WE31415J
<b>学習課題 (予習・復習)</b>										<b>1回の目安時間 (時間)</b>	
<p>テキストを事前に読み、要約する。テキストの批判的考察を行う。授業で課された課題に取り組む。</p> <p>授業のプレゼンテーション、ディスカッションを振り返り、自分の意見を整理する。</p>										1	
<b>授業計画</b>											

第1回	テーマ：オリエンテーション・グループ療法の概説 カウンセリングと心理療法、個人療法とグループ療法について解説する。
第2回	テーマ：心理劇の基礎 心理療法としてのサイコドラマの基礎知識について解説する。
第3回	テーマ：心理劇の理論 心理劇の背景にある理論、適応対象について解説する。
第4回	テーマ：心理劇の技法 ①ダブルとミラー 基本的技術、面接の進め方について解説する。 ロール・プレイングを行う。
第5回	テーマ：心理劇の技法 ②ロール・リバーサル 基本的技術、面接の進め方について解説する。 ロール・プレイングを行う。
第6回	テーマ：心理劇の技法 ③エンプティ・チェア 基本的技術、面接の進め方について解説する。 ロール・プレイングを行う。
第7回	テーマ：心理劇の技法 ④未来投影 基本的技術、面接の進め方について解説する。 ロール・プレイングを行う。
第8回	テーマ：心理劇の技法 ⑤マジックショップ 基本的技術、面接の進め方について解説する。 ロール・プレイングを行う。
第9回	テーマ：心理劇のプロセス 事例を用いて、実際の心理劇のグループ療法プロセスを検討する。
第10回	テーマ：教育における心理劇の実践 学校教育（道徳）における心理劇など、実践事例を検討する。
第11回	テーマ：福祉における心理劇の実践 発達に支援を必要とする児童への心理劇など、実践事例を検討する。
第12回	テーマ：子育て支援における心理劇の実践 子育て支援における心理劇など、実践事例を検討する。
第13回	テーマ：精神科医療における心理劇の実践 精神科リワークにおける心理劇、精神科デイケアにおける心理劇など、実践事例を検討する。
第14回	テーマ：高齢者支援における心理劇の実践 認知症高齢者の心理劇など、実践事例を検討する。
第15回	テーマ：まとめ これまでの授業内容を振り返る。
テキスト	『サイコドラマの技法 基礎・理論・実践』高良聖著 岩崎学術出版（2013）
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『心理劇入門 理論と実践から学ぶ』日本心理劇学会監修 慶応義塾大学出版会（2020） 『看護・介護・保育の心理学 第3巻 人間関係の心理と支援 グループ・アプローチのすすめ』村尾泰弘編 岡堂哲雄監修 新曜社（2011） 『看護・介護・保育の心理学 第2巻 心理臨床的支援の方法 カウンセリングのすすめ』菅佐和子編 岡堂哲雄監修 新曜社（2010） その他、適宜紹介する。

課題に対するフィードバックの方法	プレゼンテーションにコメントする。小レポートを返却する。
学生へのメッセージ・コメント	本演習は、「臨床心理学概論」で学ぶ臨床心理学の基礎知識と、「カウンセリング論」で学ぶカウンセリングの基礎知識を必要とします。 上記科目の単位を習得していない学生は、予備知識が不足しているため履修することはできません。先に、上記科目の単位を取得してください。